

昭和38年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

つぎの日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
豪 雨	6月	4月25日	予 報 課：石原
乱 流	6月	4月25日	測 器 課：清水
山の気象	6月	4月25日	予 報 課：奥山
水収支	7月	5月25日	予 報 課：石原
高層気象	7月	7月9日	高 層 課：関口
気象学史と気象教育	8月	6月20日	気 象 研：渡辺
生 気 候	9月	7月20日	気 象 研：神山
気象災害	10月	8月20日	気 象 研：渡辺
気象統計	10月	8月20日	長期予報：朝倉
大気汚染	11月		気 象 研：神山
風のシンポジウム	11月		測 器 課：清水
台 風	12月		気 象 研：相原

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
太陽活動、放射	(昭和39年) 1月		長期予報：朝倉
気 候	1月		長期予報：朝倉
気象電気	1月		気 象 研：今井
レーダー気象	2月		気 象 研：今井
測 器	2月		測 器 課：清水
長期予報	2月		長期予報：朝倉
数値予報	2月		気 象 研：相原
融 雪	2月		予 報 課：石原
メソ気象	3月		気 象 研：渡辺
豪 雪	3月		気 象 研：相原
航空気象	3月		東京航気：上松

10月の例会

主 題：気象災害

会 期：昭和38年10月25日（金）9時30分より

会 場：気象庁第一会議室

1. 荒井隆夫（気象庁）：2, 3の気象災害統計

(15分)

2. 藏重 清, 奥山志保子（気象研究所）：風速と波
害率—第2室戸台風による新潟県下の風害（Ⅱ）

(20分)

3. “ ” “ ” （ “ ” ）：雨量と山
崩れ件数との関係（Ⅱ）

(20分)

4. 奥田 纈, 京都地方気象台有志（ “ ” ）：京
都府上桂川水系の水害

(20分)

5. 渡辺次雄（気象大学）：気象災害を決める一つの
試みについて

(20分)

6. 毛利 聰明, 渡辺義雄（東管）：中部日本における
気象災害の起り方について

(20分)

7. 船津康二（ “ ” ）：台風による塩風害について

(20分)

8. 石原健二, その他（気象庁）：注意報、警報の基
準について

(20分)

9. 石原健二（気象庁）：東京都の防災気象について

(20分)

10. 鯉沼寛一（気象研）：災害と気象業務（20分）
シンポジウム 「防災と気象業務」

話題提供者 木村耕三（気象庁測候課長）
石原健二（気象庁予報課防災気象官）
作間 虔二（気象庁企画課調査官）
渡辺次雄（気象大学教官）

司 会 者 荒井隆夫

主 題：気象統計

会 期：昭和38年10月4日（金）13時30分より

会 場：気象庁第一会議室

1. 小 沢 正（気研予報）：豪雨期における渦度方
程式などの吟味 (20分)

2. 中 川 清（東管調査）：中部日本の梅雨期の悪
天について (20分)

3. 根 本 順吉（長期予報）：異常気象に関連した二
三の問題 (20分)

討論会：統計的予報の問題点

1. 奥 山 敏（予報）：予報監査の現状 (15分)

2. 磯野 良徳（電計）：予報検証の問題点 (15分)

3. 高橋浩一郎（長期予報）：周期法についての問題
点 (15分)

4. 広瀬 元孝（気研予報）：統計的長期予報の問題
点 (15分)

10月の例会追加募集

東京管区気象台共催
昭和38年度関東・中部地区気象研究会

会 期：10月23日（水）、24日（木）

会 場：神奈川県片瀬向洋荘

申 込 先：東京都千代田区大手町気象庁内

東管 久保青島

切期日：9月30日

12月例会の研究発表募集

主 題：台風

会 期：12月13日（金）

会 場：気象庁中村記念館

申 込 先：東京都杉並区馬橋 4-499

気象研究所内 相原正彦

切期日：10月30日